

やんばる3村
たまたま箱
ステージ1

東村・慶佐次マングローブ カヌー体験&自然観察

11月23日(祝・月)
時間:10:00集合・13:00解散
場所:慶佐次ヒルギ公園

開講式



地球儀で北緯27度を眺めてみると、やんばるの森の貴重さがわかるね。



自然観察



カヌー
体験



たくさんの生き物を発見。
ヒルギの見分け方を覚えたよ。



自然を守りながら活用する
ための取組がはじまっている

開講式



初めて乗ったカヌー、最初はどきどきしたけど、とっても楽しかったよ。



参加者
アンケート
(要約)

◆発見・魅力を感じたところは
マングローブの植生の不思議さ、
生物の多様性、ガイドの解説、
シダで弓矢をつくるなど自然の遊び、
自然とのふれあい…

◆自然を守りながら活用するためには
自然体験を大切に、マナーや利用者
の意識の喚起、ルールや保全計画
づくり、情報の発信やアピール、
ゴミ捨てをすてない…

◆わくわく・ドキドキを感じた
場面は
カヌー体験(多数)、
生物を発見した時、
動植物の見分け方を教わった時…



グループ

4つのグループに
分かれて自然観察。



開講式後、全員で記念撮影
東村慶佐次

慶佐次も通信員(奥)

これまで個々に地域づくりに取り組んできた3つの関係者が、連携し活動の活性化を図ろうと開催。今回は1回目で、12月は大宜味村、1月は国頭村で予定している。

参加者はマングローブカヌー体験と自然観察に取組んだ。参加した女性は「地元にもなかなかこうした体験をする機会はない。自分たちの身近な自然に触れ、大切さを実感しているかを知り、自分のために何をできるかを考える機会が大切だ」と話した。

地域の自然体験
3村がスクラム
東、大宜味、国頭

新聞に
載りました
沖縄タイムス
11月29日